

咲き誇れ秋田

日銀秋田支店長の目

「それってあなたの感想ですよね？」

そろそろ1年を振り返る時期になってきた。先日発表された今年の新語・流行語の年間大賞は「村神様」。大人の世界では東京ヤクルトスワローズの村上宗隆選手の偉業を称えた言葉が選ばれたが、子どもの世界ではどうだろうか。

大手通信教育会社が、小学生の今年の流行語ランキングを発表した。第1位は「それってあなたの感想ですよね?」。これはネット掲示板「2ちゃんねる」開設者のひろゆき氏が、動画投稿サイトで論客を論破する際に「殺し文句」として使う言葉である。小学生の皆さんは、先生に「テストの点数が悪いな」と言われた時に、これを使うようだ。恐るべき、今の小学生たち。さて、今年は皆さんにとってどのような1年であっただろうか。せっかくなので、今

1年を振り返る

祭り、企業活動で躍動

年1年を当地で過ごした私にとって印象深い、秋田の今年の出来事ベスト3を紹介しようと思

第3位は、「3」年ぶりに開催されたお祭りや花火である。皆さんが心待ちにしていた、土崎港曳山まつり、能代の七夕行事「天空の不夜城」、秋田竿燈まつり、鹿角の花輪ばやしなど、ここに書き切れないほど多くの夏祭りや、港まつり能代の花火、男鹿日本海花火、そして大曲のなかろうか。私にとっても、当地の夏祭りや花火を一通り体験できたことでようやく一人前の秋田人になった、そんな感慨深い1年となった。

第2位は、「2」年連続の当地企業と皆さんの頑張りである。このコラムでお伝えした通り、当店が県内約150社の協力の下で発表している秋田県内短観（県内企業短期経済観測調査）の本年度の事業計画は、売上高、経常利益、設備投資計画

抜き、東北6県の県庁所在地で第「2」位となった（1位は山形市、ただし青森市は18年度実績）。今年判明した当地の皆さんの頑張りには私にとって、秋田の底力を実感した非常に印象深い出来事であった。

そして第1位は、当地が再び日本「1」を取り戻した（であろう）風力発電である。順調にいけば今月中にも秋田港、能代港において大型洋上風力発電の運転が開始され、風力発電の導入

れ、さらに岸田文雄総理や黒田東彦日銀総裁が出席する経済財政諮問会議でも話題となったことである。

秋田の洋上風力は、この1年で秋田を超えて日本の話題の中心になった。そう考えると、今年秋田にとって歴史的な1年となったと言えるかもしれない。先日、来県した本行役員も、湾岸地区の風車群や当地の皆さんの取り組みを見聞きし、「秋田のイメージが随分変わったよ」と驚いていた。最近、秋田に初めて、もしくは久しぶりに来た人たちが、きつと同じ思いをしているのではなからうか。

花火が3年ぶりに無事開催された。皆さんも家族や親類、友達と久しぶりに集い、コロナ禍という暗いトンネルの中でも一筋の明るさを感じた方が多いのではない。

また、こうした企業の頑張りもあってか、企業や雇用者などの所得を勘案した秋田県の1人当たり県民所得は、2019年度の伸び率が全国トップとなった上、同年度の秋田市の1人当たり市町村民所得も、仙台市を

量が国内トップに再び咲く予定である。今年洋上風力関連で、当地が開始した1年であった。まず、次の事業展開を見据え、大手の海運会社や総合商社が相次いで秋田支店を開設したことには皆さんも驚いたであろう。私がそれ以上に驚いたのが、これまでどちらかといえば「秋田の話題」であった洋上風力が、今年に入ると全国の経営者が愛読するビジネス雑誌の巻頭や、全国紙の記事に度々取り上げら

がいずれも2年連続で2桁プラスを維持している。厳密に結果を比較することはできないが、他の支店において2年連続で2桁プラスとなっているところは少ない。

今秋田を知らない人から「秋田って、人口減で経済が衰退し、何もないよね」と言われたら、「それってあなたの感想ですよね?」と、今年の小学生の流行語を、秋田の大人が使って返答する日もそう遠くないのかもしれない。秋田の皆さん、来年も頑張り一緒に秋田を盛り上げていきましょう。良いお年を。

（真鍋隆・日本銀行秋田支店長）



「随時掲載」